

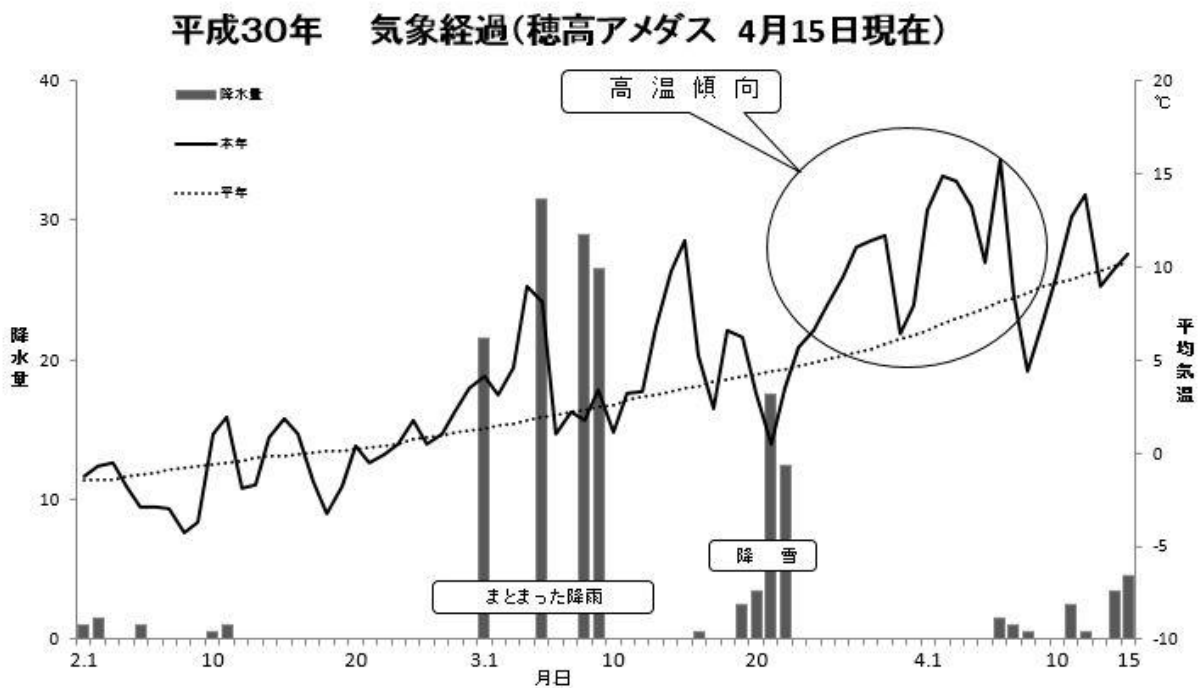
農業協同組合米穀生産指導担当者様  
全農長野生産事業部米穀課担当者様  
全農長野中信事業所生産販売課米穀担当者様  
関東農政局長野支局松本駐在担当者様  
長野県農業共済組合中信地域センター  
松塩筑支所、安曇野支所担当者様

松本農業改良普及センター技術係作物担当

## 平成30年 作物技術情報 第4号

### (麦の生育状況、2回目の追肥、水稻育苗管理について)

### ( 5枚 送付 )



### 1 気象状況

- ・ 越冬後の気温は、2月は低めに推移しましたが、3月になると平年より高温の日が多くなりました。2月は降雨が少なく乾燥傾向でしたが、3月は上旬にまとまった降雨があり、下旬には降雪もありました。その後は概ね平年より高温で推移しています。
- ・ 今後、天気予報には十分注意し、高温・低温対策の徹底をお願いします。

## 2 麦の生育状況と2回目（止葉展開期）の追肥について

### (1) 麦の生育状況

3月になって降雨があり、気温も高めに推移したため、播種遅れとその後の低温により不足している生育量を補うために、早めに多めに施用した追肥の効果も現れ、茎数は増加しつつあります。また、高温傾向により生育の遅れも回復しつつあります。

湿害等の障害を受けていない場合は、以下の生育状況と推定されます。

- |          |   |            |
|----------|---|------------|
| 10月下旬～播種 | → | 生育は「やや良」   |
| 11月上旬～播種 | → | 生育は「茎数やや少」 |
| 11月中旬～播種 | → | 生育は「茎数少」   |
| 11月下旬～播種 | → | 生育は「茎数極少」  |

4月12日現在、島内品種試験圃場（11月9日播種）の幼穂長は次のとおりです。

大麦	ファイバースノウ	9 mm	(昨年 13~19mm、止葉の1枚下の葉抽出中)
	シュンライ	6 mm	(昨年 22~30mm、止葉抽出始め)
小麦	シラネコムギ	2.5~3.2mm	(昨年 3mm )
	ゆめきらり	3.0 mm	(昨年 4mm )
	ゆめかおり	2.3 mm	(昨年 6~10mm )

※ 昨年は11月4日播種。( )内の昨年は4月15日現在

また4月12日現在、現地の生育良好な圃場の幼穂長は次のとおりです。

有明	しゅんよう	3~4 mm	(昨年 4mm )
北穂高	シラネコムギ	1~2 mm	(昨年 1.5mm)
	ファイバースノウ	2~7 mm	(昨年 9mm)
穂高	ファイバースノウ	5~7 mm	(昨年 11mm 止葉の2枚下の葉抽出始)
南穂高	ゆめきらり	2mm	(昨年 5mm)
豊科	ゆめきらり	2~4mm	(昨年 3~4mm )
堀金	しゅんよう	2mm	(昨年 2~3mm)
三郷	ゆめきらり	4~5 mm	(昨年 3~4mm)
梓	ゆめきらり	4~5 mm	(昨年 5~6mm)
和田	ユメセイキ	1mm	(昨年 2~3mm)
神林	ホワイトファイバー	5~8 mm	(昨年 14~15mm 止葉の1枚下の葉抽出中)
	ユメセイキ	1mm	(昨年 2mm)
笹賀	ホワイトファイバー	13~15 mm	(昨年 15~16mm 止葉の1枚下の葉抽出始)
寿	ゆめかおり	2mm	(昨年 2~3mm)
中山	ゆめかおり	0.5~1mm	(昨年 4mm)
山辺	ゆめかおり	30mm(止葉抽出始)	(昨年 11~12mm)
岡田	ゆめかおり	2mm	(昨年 5~6mm)

※ ( )内の昨年は4月15日現在

以上から、生育良好な圃場の生育ステージは

大麦 幼穂長 5~12mm 前後 (昨年ほぼ同時期 10~20mm 前後 止葉1枚下葉抽出)

小麦 幼穂長 2~5mm 前後 (昨年ほぼ同時期 2~6mm 前後)

と推定されます。

このところの高温傾向により、生育は概ね回復していますが、大麦・小麦ともに昨年より僅か遅れ、平年からも僅か遅れているものと見られます。

但し、今後の気象変動によっては生育進度が左右されますので、ご注意願います。

## (2) 2回目の追肥時期

- 大麦及び小麦（ゆめきらり、シラネコムギ、しゅんよう、ユメセイキ）は止葉展開期を確認して適期追肥をお願いします。

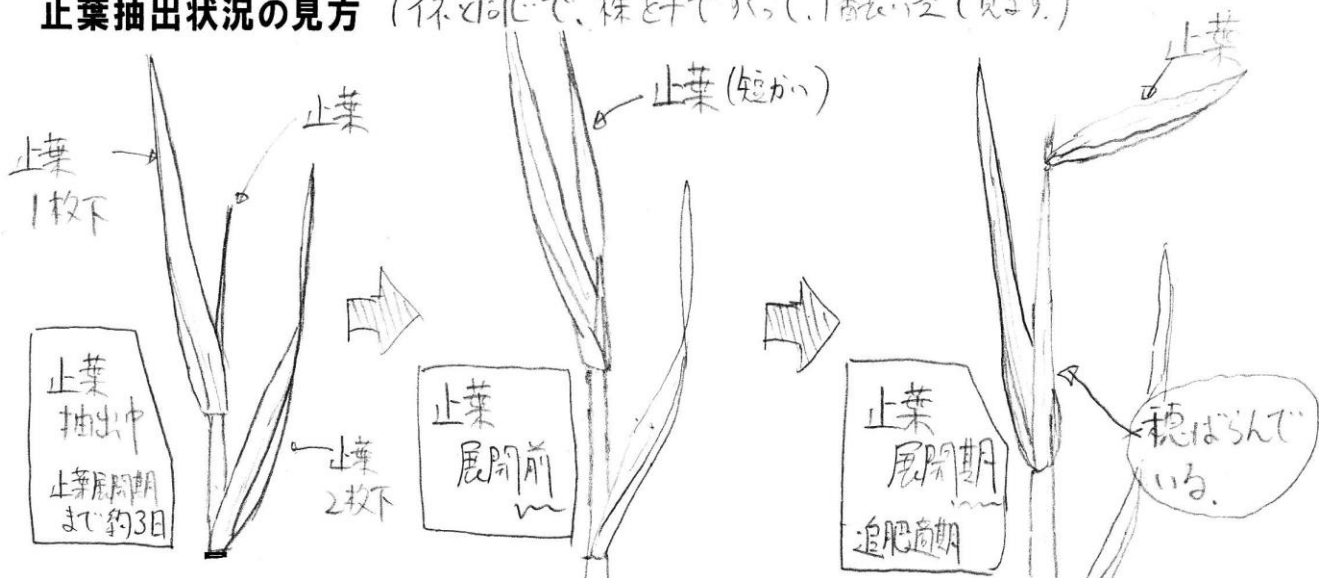
今後の気象状況にもよりますが、大麦は4月20日過ぎから、小麦（ゆめきらり、シラネコムギ、しゅんよう、ユメセイキ）は4月30日頃から、止葉展開期を迎えると思われます（平年よりやや遅い）。

- パン用小麦（ゆめかおり）は出穂状況を確認して出穂期～穂揃い期（5月連休中～連休明け頃と思われます）に追肥をお願いします。

### 【注意】

- ★ 極端な早期追肥は倒伏を招きます。
- ★ 大麦の場合、適期を逃すと硬質麦（硝子率が増加）となり、品質ランクを落とします。
- ★ 小麦の場合、適期を逃したり無追肥だと低タンパクになり、品質ランクを落とします。必ず追肥をしてください。
- ★ 適期に散布しても、土壌が乾燥していると効きませんので、降雨が期待できない場合、灌水とセットで実施してください。
- ★ 必ず止葉の抽出状況を確認して追肥をお願いします。  
暖かい日が続くと、思ったより生育が進む場合があるので、今後の気象状況に注意してください。

### 止葉抽出状況の見方 （体と同じで、株を手でずらして、一番長い茎で見ます。）



### (3) 2回目の追肥量

播種時期によって生育差があります。圃場の生育状況に合わせた追肥量でお願いします。

#### 追肥量の基準

★大麦及び小麦（ゆめきらり、シラネコムギ、しゅんよう、ユメセイキ）  
窒素成分で2kg前後/10a（硫安の場合10kg前後/10a）

★パン用小麦（ゆめかおり）  
窒素成分で4kg前後/10a（硫安の場合20kg前後/10a）

#### 【重要】・・・圃場の生育に合わせた追肥をお願いします・・・

★以下は大麦・小麦（ゆめきらり、シラネコムギ、しゅんよう、ユメセイキ）の場合

#### 生育が悪い圃場（播種遅れ、湿害、凍上害等による）

- 少なめ追肥 窒素成分で1kg/10a ⇒ 穂数少ないが登熟向上
- × 必要以上の追肥 ⇒ 大麦：硬質粒の発生、小麦：粉色・製麺性の低下

#### 生育が良い圃場

- 多め追肥 窒素成分で2kg/10a ⇒ 茎数がまずまず確保されている場合は、基準量を追肥して登熟向上
- × 追肥未実施 ⇒ 充実不足による小粒化、タンパク質量低下

## 2 水稻の育苗管理

播種最盛期を迎えますが、寒暖の差が激しいと、ムレ苗や苗立枯病等が発生します。天気予報に十分注意し、適温管理の徹底をお願いします。

特に霜注意報が出た朝は晴天になることが多く、急激にハウスやトンネル内が高温になるので、換気を早めに（日の出とともに）行うようご指導ください。

またハウスのビニールを新品にした場合は、温度が上がりやすいので特にご注意ください。

## 主な病害の病徴と原因

病 徴	病 害 名	原 因
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出芽中、出芽後に茶色く腐敗</li> <li>・ 2葉期以降に発病→<u>引っ張ると葉が抜ける</u></li> <li>・ <u>2葉目が1葉目の葉鞘を突き破って出る</u>、その葉身の基部が白い</li> <li>・ 全面枯れ(初期)～坪枯れ症状</li> </ul>	もみ枯細菌病	催芽、出芽時の高温 緑化期の高温、過湿 ほか
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 茶色くしおれる</li> <li>・ 葉身の基部が白い</li> <li>・ 根の生育が悪い</li> <li>・ 坪枯れ症状</li> </ul>	苗立枯細菌病	催芽、出芽時の高温 緑化期の高温 ほか
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 苗が曲がっている</li> <li>・ 葉鞘から葉身に褐色の条斑</li> <li>・ 苗箱の中で均一的に出る</li> </ul>	褐条病	催芽、出芽時の高温 ほか
立ち枯れ症状	フザリウムによる 苗立枯病	育苗初期の低温 立枯防除の不徹底 ほか
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地際に白カビ、種籾の周りに淡紅色のカビ</li> </ul>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 急激にしおれて、枯死</li> <li>・ カビがない</li> <li>・ 症状が広がっている</li> </ul>	ピシウムによる 苗立枯病	緑化期以降の低温 立枯防除の不徹底 ほか
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緑化開始時に箱全体が白いカビに覆われ、やがて灰白色となる。籾のまわりに白いカビがはびこり、苗の生育は悪く黄緑色に退色する。</li> <li>・ 急激にしおれて、枯死</li> <li>・ カビがない</li> <li>・ 症状が広がらない</li> </ul>	リゾープスによる 苗立枯病	緑化始期の高温多湿
	ムレ苗	特に 1.5 葉期以降の低温 (生理障害で抵抗力の低下)
他にも育苗中の病害はあるが、よく見られるものは上記のもの。		